

記載例と注意事項

第三十四号様式（第四条の十六関係）（A4）

仮使用認定申請書

（第一面）

建築基準法第7条の6第1項第2号（同法第87条の4又は第88条第1項若しくは第2項において準用する場合を含む。）の規定による仮使用の認定を申請します。

一般財団法人 ふくしま建築住宅センター 様

申請日を記入してください

令和〇年〇〇月〇〇日

申請者氏名

〇〇〇〇株式会社
〇 〇 〇 〇

【仮使用の認定を申請する建築物等】

- 建築物
 建築設備（昇降機以外）
 工作物（法第88条第1項）
- 建築設備（昇降機）
 工作物（昇降機）
 工作物（法第88条第2項）

仮使用認定を受ける申請種別にチェックしてください

※受付欄	※決裁欄	※認定番号	※特記
年 月 日		年 月 日	
第 号		第 号	
係員氏名		係員氏名	
※条件			

【1. 建築主、設置者又は築造主】

【イ. 氏名のフリガナ】 ××××××カブシキカイシャ××××× ×××
【ロ. 氏名】 ○○○○株式会社○○ ○○
【ハ. 郵便番号】 960-0000
【ニ. 住所】 福島県○○市○○○一丁目1-1
【ホ. 電話番号】 024-000-0000

建築主が2人以上の場合は、すべて記入してください

【2. 代理者】

【イ. 資格】 (一級) 建築士 (大臣) 登録第 000000 号
【ロ. 氏名】 ○ ○ ○ ○
【ハ. 建築士事務所名】 (一級) 建築士事務所 (福島県) 知事登録第12(404)0000号
(株) ○・○・○設計
【ニ. 郵便番号】 960-0000
【ホ. 所在地】 福島県○○市○○○一丁目1-1
【ハ. 電話番号】 024-000-0000

建築主本人が、当センターへ直接申請に来ない場合は、代理者の委任状が必要です

【3. 建築確認】

【イ. 確認済証番号】 第 R04 確認建築 BHC ○支○○○○号
【ロ. 確認済証交付年月日】 令和○年○○月○○日
【ハ. 確認済証交付者】 一般財団法人ふくしま建築住宅センター

直近の確認申請の情報を記載してください
計画変更がある場合は計画変更の情報になります

【4. 敷地の位置】

【イ. 地名地番】 福島県○○市○○○1番地
【ロ. 住居表示】 福島県○○市○○○1丁目1-1

【5. 設置する建築物又は工作物】

【イ. 所在地】
【ロ. 名称のフリガナ】
【ハ. 名称】

仮使用を受ける対象が建築物の場合は【4】欄を記入、
工作物や昇降機である場合は【5】欄を記入してください

【6. 仮使用の用途】

事務所

できるだけ詳しい情報を記入

【7. 工事完了予定年月日】 令和○年○○月○○日

仮使用部分の工事完了予定日を記入※

【8. 仮使用期間】 令和○年○○月○○日から 令和○年○○月○○日 まで

【9. 申請の理由】 新築建築物に引越し後でない、解体既存建築物を解体できないため。

できるだけ詳しい情報を記入

【10. 備考】

補足する事項があれば記入

(注意)

1. 第一面関係

① 「仮使用の認定を申請する建築物等」の欄は、該当するチェックボックスに「レ」マークを入れてください。建築基準法第88条第1項に規定する工作物のうち同法施行令第138条第2項第1号に掲げるものにあつては、「工作物（昇降機）」のチェックボックスに「レ」マークを入れてください。

② ※印のある欄は記入しないでください。

2. 第二面関係

① 建築主、設置者又は築造主が2以上のときは、1欄は代表となる建築主、設置者又は築造主について記入し、別紙に他の建築主、設置者又は築造主についてそれぞれ必要な事項を記入して添えてください。

② 建築主、設置者又は築造主からの委任を受けて申請を行う者がいる場合には、2欄に記入してください。

③ 2欄は、代理者が建築士事務所に属しているときは、その名称を書き、建築士事務所に属していないときは、所在地は代理者の住所を書いてください。

④ 3欄は、計画変更の確認を受けている場合は直前の計画変更の確認について記載してください。

⑤ 4欄は建築物又は工作物（昇降機を除く。）について、5欄は昇降機又は建築設備について仮使用の認定を受けようとする場合に記入してください。

⑥ 住居表示が定まっているときは、4欄の「ロ」に記入してください。

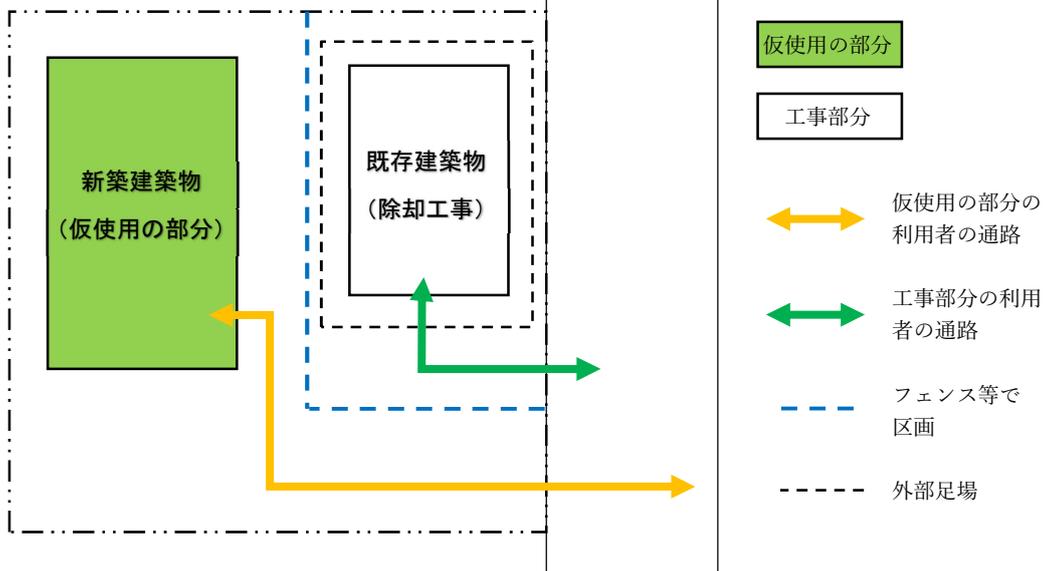
⑦ 6欄及び9欄は、できるだけ具体的に書いてください。

安全計画書				
I. 工事計画概要				
1. 工事名称	〇〇〇〇新築工事			
2. 工事場所	福島県〇〇市〇〇〇1番地			1欄～4欄は、確認申請書に記載のものと同じとしてください。
3. 工事種別	新築			
4. 建物概要	イ. 用途	事務所	ロ. 構造	
	ハ. 高さ	・軒の高さ〇〇.〇〇m・最高の高さ〇〇.〇〇m		
	ニ. 階数	・地上 〇階・地下 〇階・塔屋 〇階		
	ホ. 建築面積	〇〇〇.〇〇㎡	ヘ. 延べ面積	〇〇〇.〇〇㎡
5. 昇降機・建築設備又は工作物の概要	廊下、直通階段、排煙設備（自然）、非常用の照明装置、防火区画（縦穴区画） ※仮使用部分に避難施設等の工事は含まない。			
II. 仮使用認定申請部分				
1. 仮使用部分	別添図面に黄緑色で表示			
2. 用途	事務所	3. 申請面積	概ね 〇〇〇㎡	
(注意)				
<div style="border: 1px solid red; padding: 5px; display: inline-block; margin-bottom: 10px;">仮使用部分について記入してください。</div> <div style="border: 1px solid red; padding: 5px; display: inline-block; margin-bottom: 10px; margin-left: 100px;">申請面積は概数で構いません。</div> <div style="border: 1px solid red; padding: 5px; display: inline-block; margin-top: 10px;">用途や面積等が複雑になる場合等、特記すべき事項があれば記載してください。</div>				

Ⅲ. 基本的な施工計画

添付図書にて詳細を記す事となる為、この欄への記載内容は、工事の全容を簡易的になるべく分かりやすく表現してください。

1. 工事施工手順の概要（概念図）



2. 工事区画の位置及び構造

別添図面に（工事区画の位置は朱書きで）表示

3. 工事工程

別添工事工程表に表示

4. 工事用資材の搬出入及びその管理方法

- ① 別添図のとおり工事部分と仮使用の区画を明確にし、建築物外部の工事部分に工事用資材の一次仮置場を設ける。
- ② 仮使用の部分と工事部分の入口を明確に分離し、工事用資材の搬出入経路と仮使用の部分を使用する者の経路を区分する。
- ③ 資材の搬入を含む工事作業者が使用する工事用足場は、仮使用の部分を使用する者の経路の上部に設置しない。
- ④ 可燃用資材等は必要最低限の搬入とし、1ヶ所当たりの総量もあまり大きくならないよう分散配置を心掛ける。
- ⑤ 工事現場内の整理、整頓を心がけ、残材、ゴミ等は1日の作業終了後、外部へ搬出する。

仮使用部分と工事部分が安全に区画されていることが分かる管理方法を列記してください。

IV. 工事により機能の確保に支障を生じる避難施設等の有無		
	種 類	工事により機能の確保に支障を生じる避難施設等の有無
避難施設等	イ. 廊下その他の通路	有 <input type="checkbox"/> 無 <input checked="" type="checkbox"/>
	ロ. 直通階段等	有 <input type="checkbox"/> 無 <input checked="" type="checkbox"/>
	ハ. 地下道等	有 <input type="checkbox"/> 無 <input checked="" type="checkbox"/>
	ニ. スプリンクラー設備等	有 <input type="checkbox"/> 無 <input checked="" type="checkbox"/>
	ホ. 排煙設備	有 <input type="checkbox"/> 無 <input checked="" type="checkbox"/>
	ヘ. 非常用照明装置	有 <input type="checkbox"/> 無 <input checked="" type="checkbox"/>
	ト. 非常用昇降機	有 <input type="checkbox"/> 無 <input checked="" type="checkbox"/>
	チ. 防火区画	有 <input type="checkbox"/> 無 <input checked="" type="checkbox"/>

「有」にチェックがある場合、センターでは引受できません。

※「有」のチェックボックスにチェックが入っている場合は、申請を受理しないよう留意する。